



志木二小だより

平成30年11月号

志木市立志木第二小学校
埼玉県志木市館1丁目2番1号
TEL 472-0540

//// 学校教育目標 **進んで学ぶ子 心の豊かな子 体をきたえる子** ////

児童数	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	たんぽぽ	10/24現在	昨年同時期
	97	72	80	84	101	88	13	535名	529名



ひとつの言葉は ひとつの心をもっています

校長 齋地 満

先日、先生の日に子ども達から手紙をいただきました。ドキドキして読んでみると、合言葉「生き生きと瞳輝き、笑顔あふれる 二小っ子」が浸透してきている様子がわかりうれしく感じました。また、力を入れている私の朝の挨拶に対して「元気になります。」という温かい言葉もあり、子どもたちの優しい心にふれ、胸が熱くなりました。そして、「よし、がんばるぞ。」と、力が湧いてきました。

さて、「言霊（ことだま）」と言う言葉があります。古代日本で、言葉に宿っていると信じられていた不思議な力であり、よい言葉を発するとよいことが起こり、悪い言葉を発すると凶事が起こると言われていました。言葉を大切にしようとする日本文化の表れなのでしょう。

現代においても、言葉にはとても大きな力があります。私の場合と同じように、人を元気にする力があれば、逆に人を傷つける力もあります。学校生活では、様々な場面で様々な言葉が飛び交っています。その多くは、子ども同士の楽しい会話なのですが、感情に任せてつい言ってしまった言葉が、けんかに発展したり、誤解を生んだりすることもあります。残念ですが、時にはからかいの言葉も・・・

優しい言葉が行き交えば人間関係は和み、言葉が荒むと人間関係も荒んできます。これも、言葉のもつ力なのでしょう。『ひとつのことば』という詩を紹介します。志木四小の学校だより7月号にも掲載されていました。

ひとつのことばを美しく	ひとつのことばを大切に	やさしいことばはやさしい心	きれいなことばはきれいな心	ひとつのことばはそれぞれに	ひとつのことばはそれぞれに	ひとつのことばで泣かされる	ひとつのことばで楽しく笑い	ひとつのことばで心が痛む	ひとつのことばで頭が下がり	ひとつのことばでなかなおり	ひとつのことばでけんかして	『ひとつのことば』
-------------	-------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	--------------	---------------	---------------	---------------	-----------

志木二中学校区として、地域で共有したいと思います。

11月は、いじめ撲滅強調月間です。言葉の力を上手に使って、けんかやいじめのない学校づくりに取り組んでまいります。

